

練馬区立小中一貫教育校推進委員会（第16回） 要点記録

開催日時	平成22年11月1日(月) 午後2時00分～午後3時25分	
会場	大泉学園桜中学校2階 多目的室	
出席者	委員	本木薫、中島広美、伊藤照代、大和田隆彦、中田清、坂口節子、小川善昭、時政千恵子、坂田美由紀、木下川肇、高島邦夫、伊藤隆、元木靖則、室地隆彦（敬称略）
	事務局	新しい学校づくり担当課、教育指導課
	その他	教育出版
傍聴者	2名	
案件	1 小中一貫教育校の統一校歌の検討 2 小中一貫教育校実施計画(素案)の検討	

1 小中一貫教育校の統一校歌の検討

委員長

これより第16回小中一貫教育校推進委員会を開催する。
まず小中一貫教育校の校歌について事務局から資料の説明をお願いする。

事務局

資料1の「校歌制作者について」をご覧いただきたい。人選については学校と調整のうえ事務局で進めることを前回の会議で了承いただき、記載の方々をお願いしたいと思っている。

作詞者は村田さち子氏で、経歴・主な作品については資料でご確認いただきたい。

作曲者は西澤健治氏で経歴は記載の通りである。校歌のほかに教科書に掲載されている楽曲など多くの実績があるということで人選した。せっかくの機会ということで3曲の作品をお聴きいただきたい。

—楽曲再生—

委員長

校歌について大泉学園桜小・中学校長から発言をお願いしたい。

委員

ご紹介いただいた両氏については私どもの方でも検討した。詩は読めば分かるが、曲は聴いてみないと分からないので、CDを借りて何度も聴いてみた。20曲ほど入っていたが、どれも非常に素直な曲想という印象を受けた。学校にもお越しいただけるということで、学校の特色・目指す教育の方向性などをお伝えし、期待に沿ったものを作っただけなのではと考えている。

委員

私もすべての曲を聴いた。さわやかな印象で新しい学校にはふさわしいのではという点で中学校長との意見も一致し、お二人に願う運びとなった。11月10日に学校にお越しただくということで、子供たちや周りの環境、経営方針などを知っていただき、良い校歌ができるようお願いしたいと思っている。

委員長

小中一貫教育校の校歌についてご質問、ご意見があれば願う。

委員

補足だが、事務局からは複数の作詞家、作曲家の提案をいただき、音源などもチェックしたうえで、このお二人に願うできればという経緯があったことをお知らせする。

委員

以前皆さんからいただいたご意見を校歌にすべて網羅し反映することは難しいと思われるため、11月10日には参考意見ということで、お二人にお伝えすることを了承いただきたい。

委員長

他にご質問、ご意見があれば願う。

委員

曲を聴かせていただき、編曲なども得意な方だと分かったので、両氏に願うことに賛成する。

委員

3曲ともとても優しい曲で、子供たちが歌いやすそうな音域の曲という印象を持った。また、作曲者は空や宇宙に向かって広がっていくイメージの曲を作る方なのかなという想像もした。

作詞者の詩も現代的で、未来に向かって明るい希望が持てる言葉が多く、曲と詩が合体した時がすごく楽しみだ。

委員長

他にご質問、ご意見がなければ、校歌については事務局と学校で調整のうえ進めていただければと思う。

2 小中一貫教育校実施計画(素案)の検討

委員長

次に「小中一貫教育校実施計画(素案)」の検討について、事務局から説明を願う。

事務局

(資料2「練馬区立小中一貫教育校実施計画(素案)」に基づき説明)

【概略】

第1章「小中一貫教育校実施計画の策定について」

→小中一貫教育校推進委員会、小中一貫教育資料作成委員会、小中一貫教育校連絡会の検討事項の説明。これらをまとめて実施計画を作成する。

第2章「小中一貫教育校の教育(「練馬区立小中一貫教育校設置に関する基本方針」抜粋)」

→教育委員会で協議した練馬区立小中一貫教育校設置に関する基本方針の抜粋(小中一貫教育校設置の意義・特色・効果と全体の構想図。)

第3章「大泉桜学園の教育」

→教育目標と学校経営体制、校長1名と副校長3名で小中一体となった組織体制で行っていくことの説明。「大泉桜学園の特色」については「命の教育」を教育課程の根幹に据え、「きめ細かな学習活動」、「異年齢集団活動や体験活動を重視した教育活動」、「5年生から参加できる部活動」について、具体的な活動や取組を記載。

第4章「学校生活」

→「統一校名」、「統一校章」、「統一校歌」、「標準服」の決定までの経緯や込められた思いを説明。

第5章「就学の特例」

→「通学区域制度の特例」、「学校選択制度の特例」について説明。

第6章「施設整備」

→2か年にわたって進めている改修工事の中身。改修内容を表す平面図については「資料編」に記載。

第7章「小中一貫教育校の教育(小中一貫教育資料の概要)」

→「表現力の育成」、「体力の向上」、「キャリア教育の推進」、「心の教育の推進」の4つの柱についての概要と、それぞれの「検討の視点等」、「重視する指導項目とその定義等」、「学習期ごとの子供像」、「活動事例」を一覧表にしたもの。

「資料編」

→「学校平面図」、「校舎配置図」、「練馬区立小中一貫教育校推進委員会 検討経過(平成21年度、平成22年度)」、「練馬区立小中一貫教育校推進委員会設置要綱」、「練馬区立小中一貫教育校推進委員会 委員名簿」、「練馬区小中一貫教育資料作成委員会設置要領」、「練馬区小中一貫教育資料作成委員会 委員名簿」

委員長

ただいま事務局から説明があったが、章ごとにご意見ご質問を受けたい。第1章、第2章についてご意見がなければ、次の第3章についてご質問、ご意見をお願いしたい。

委員

5ページの原稿は教育目標を内部向けに説明する際に作成した文章を、実施計画に載せるために「です・ます調」に直したものであるが、不特定多数の方々に分かりやすく説明するもの

としては、フォントや数字の使い方、構成に少し違和感がある。事務局には協力を惜しまない
ので、もう少しこなれた文章がこのページに収まるよう表現や説明方法などを工夫したい。

委員

推進委員会の中では「桜学精神」という漢字を「おうがくせいしん」とすぐに読めるが、一
般の方が読めるかどうかは分からないので、ルビをつけた方が良いと思う。

委員

「大泉桜学園」が練馬区の小中一貫教育校のフロンティアである、最初であるという表現を
入れたら良いのではないかと思う。

委員長

その他にご意見はないか。

委員

6ページの「異年齢集団活動」の説明に入学式・卒業式が入っているが、これらは集団活動
ではないので、仕分けをして新たに整理したものに差し替えたいと考えている。

委員

その下の「稲作の本物体験」も、稲作を含めた一連の環境教育の中で食育の視点を盛り込む
ということだが、収穫した米を使って食育の推進を図ると誤解される恐れがあるので、表現を
検討したほうが良いと思う。

委員

「外国語活動の充実」の説明が、「3年生から外国語活動を行う」だけでは物足りないので、
もう少し具体的に見ただけで分かることが書かれていると良いと思う。

事務局

資料の補足説明をさせていただく。「学校経営体制等」に書かれている、副校長を3人体制に
するということが、推進委員会の場では報告していなかったことなので、どういう事かと思
われる方がいるかもしれない。

もともとの小学校、中学校ならば校長2名、副校長2名で4名の管理職がいるが、小中が1
つの学校になる場合は校長1名、副校長が小中1名ずつで計3名の管理職となってしまう。規
模も変わらず9年間を一貫とする学校としては管理職が減ることで、学校運営がしづらくなる
ということで東京都教育委員会に要望し、最終的に許可されたのでこのような形で入れさせて
いただいた。

委員

6ページ全体にわたって再度練ったものをお出しするので、差し替えをお願いしたい。

委員長

他にご意見はあるか。

委員

3人の副校長体制というのは理解が難しい。小中にそれぞれ副校長がいるのは分かるが、もう1人の副校長の役割とは一体どんなものになるのか。

事務局

3人のうちの1人を統括副校長とし、副校長のリーダー的な存在にしたり、Ⅲ期に分かれているそれぞれの期に1人ずつ副校長をつけるというやり方もある。既に小中一貫教育校として先進的に運営している学校でも様々だが、どういうやり方が施設一体型の小中一貫教育校には一番良いのかを検討しているところである。

委員長

他にご意見がなければ、「第4章 学校生活」についてご意見、ご質問をお願いしたい。

委員

「第4章 学校生活」の項目立てに違和感がある。「統一校名」など章立ての名称も検討してほしい。

事務局

第4章の章立ての項目の名称を別の表現に変えることは、差し支えない。今回は中間のまとめの段階で、教育活動と直接かかわらない部分という趣旨で「学校生活」と区分けして章立てし、整理したものをそのまま持ってきている。

委員

「統一校名」、「統一校章」、「統一校歌」は、新しい学校の普遍的な要素だと思う。校歌や校章が途中で変わることはなく、そういう意味では「第3章 大泉桜学園の教育」より前でも良いのではないかと。また、統一校名の説明に、決定するまでの時間的な経緯は書かれているが、議論の際の熱い気持ちを伝えるには少し説明が足りないのではないかと思う。

教育目標は、子供たちの課題が解決されれば、新たな目標が策定されることもある。きめ細かな学習活動についても、いろいろやりながらシステムを変更し、より良いものをしていくと内容は変わってくる。そういうことを考えるとこれらは後の方が良いのではないかと思う。

標準服については、統一校歌等とは違う要素があり、デザインが古くなればモデルチェンジすることもある。そんなことを考えると、この組み立てのままで良いのかどうか、皆さんで話し合っていたいただきたいと思う。

委員

今のお話の組み立ての方が分かりやすいと思う。まず校名、校章、校歌があり、そのあと教育方針が語られる方が、素直な組み立てという気がする。

委員長

第4章を通して、ご意見、ご質問をお願いします。

委員

「統一校名」の説明の最後に「練馬区立学校設置条例上の名称については、大泉学園桜小学校・大泉学園桜中学校で変わりません」と書かれており、法的に両校の名称が残ることは、ここで明言されている。10月9日の学校説明会でも、その辺はどうなのかという関心が強かったので、はじめの方に前提条件として説明しておくのが良いと思う。

委員

「卒業証書の校名はどちらになるのか」と聞かれることもあると思うが、「大泉桜学園」という言葉は使わないのか。

事務局

卒業証書は、小学校、中学校の課程を修了したことを証明する大事な書類であるため、法的な小学校、中学校の校長名が書かれている必要がある。今回の場合は、それ以外に「大泉桜学園」という名称をどのように盛り込むかについて、一定の整理をしているところである。

例えば、「練馬区立小中一貫教育校大泉桜学園 練馬区立大泉学園桜小学校長〇〇〇〇 小学校長の印」としたり、「練馬区立小中一貫教育校校長」と「練馬区立大泉学園桜小学校長」の両方の肩書きを併記し、校長名を入れるという方法がある。いずれにしても「大泉桜学園」という名称は載せたいと思っている。ただ、「大泉学園桜小学校長」という名称は必ず入れる必要があるということをご理解いただきたい。

委員

中学校長も小学校長も大泉桜学園校長も同じ先生ということで良いか。

事務局

そのとおりである。

委員

小学校卒業と中学校卒業の兄弟がいた場合、同じ校長名が書かれていることになるのか。

事務局

そのとおりである。

委員長

次に「第5章 就学の特例」、「第6章 施設設備」についてご意見、ご質問はないか。なければ「第7章 小中一貫教育校の教育(小中一貫教育資料の概要)」についてお願いします。

委員

この資料はほぼ完成した状態のものなのか、それとも完成に向け修正が入る余地があるのか。

事務局

これは現段階のもので、多少修正が入ってくると思う。1月の完成を目指しているので、残り2か月検討し仕上げていく予定である。

委員

各部会とも表の中の項目は具体的で分かりやすく、努力していただいていると受け止めている。ただ「心の教育の推進」の第Ⅱ期では5項目の子供像が示されているが、「表現力の育成」では1つしか示されておらず、イメージ作りの根幹という意味ではもう少し検討いただいたほうが良いと思う。

事務局

統一性や見やすさの部分ではまだ課題のある資料となっている。今はそれぞれの部会が出してきたものを入れ込んでいるという状況であるため、各段階でどういうことを目指していくのかが分かるような形で、文章量も含めて修正をかけていきたい。

委員長

それでは最後の「《資料編》」と全体を通してご意見、ご質問があればお願いします。

委員

以前、「基本方針」が出され、今回「実施計画」を出すわけだが、さらに第3弾が出るのか、それともこれで完結するのか。今日、校舎の外で業者との打ち合わせがあったが、メイン通路がまっすぐ伸びた先にシンボルツリーのような桜があり、とても良い風景だった。そういった風景や、改修中の箇所の写真などを資料として載せられると良いと思う。

事務局

今回の資料の中身は、推進委員会で検討してきたことをまとめたもので、モノクロの冊子にしたいと思っている。一般の区民向けには字面が多いと読んでもらえないので、概要版としてA3判両面程度のカラーのパフレットを考えている。

また、学校としてのPRも必要になるので、これから学校で具体的に詰まってくる中身をもう少し詳しく入れた形の方が伝わりやすいものになると思う。大泉桜学園の開校に向けた大枠でのまとめとしては、これで完結とさせていただきたい。

委員長

他にご意見、ご質問はないか。なければ本日の案件については終了する。今日いただいたご意見を踏まえて事務局で小中一貫教育校実施計画を修正し、取りまとめをお願いしたい。最後に次回の案件と開催日時について事務局から説明をお願いします。

事務局

本日は、実施計画（素案）について貴重な意見をたくさんいただいた。次回は、教育委員会、文教委員会、学校の先生方からいただいた意見を踏まえ、「小中一貫教育校実施計画(案)」を提示したいと思う。ついでには、多少お時間をいただきたいので、以前お知らせした開催予定の変更をお願いしたい。

(第 17 回小中一貫教育校推進委員会の開催日程の確認)

12 月 21 日 (火) 午後 2 時～ 於. 大泉学園桜中学校

委員長

以上で第 16 回小中一貫教育校推進委員会を終了する。